

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年2月12日
【四半期会計期間】	第92期第1四半期（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）
【会社名】	伊藤忠食品株式会社
【英訳名】	I TO CHU - SHOKUHI N Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 濱口 泰三
【本店の所在の場所】	大阪市中央区城見二丁目2番22号
【電話番号】	(06)6947-9811
【事務連絡者氏名】	執行役員経本部長 小池 俊一
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区城見二丁目2番22号
【電話番号】	(06)6947-9811
【事務連絡者氏名】	執行役員経本部長 小池 俊一
【縦覧に供する場所】	伊藤忠食品株式会社 東京本社 （東京都中央区日本橋室町三丁目3番9号） 伊藤忠食品株式会社 東海営業本部 （名古屋市熱田区川並町3番14号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第91期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第92期 第1四半期連結 累計(会計)期間	第91期
会計期間	自平成20年 10月1日 至平成20年 12月31日	自平成21年 10月1日 至平成21年 12月31日	自平成20年 10月1日 至平成21年 9月30日
売上高(百万円)	170,377	165,663	622,181
経常利益(百万円)	2,453	2,743	5,103
四半期(当期)純利益(百万円)	1,822	1,206	3,584
純資産額(百万円)	53,454	54,798	54,216
総資産額(百万円)	223,669	219,738	174,596
1株当たり純資産額(円)	4,164.97	4,269.03	4,223.76
1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	142.06	93.99	279.34
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額(円)	141.98	93.99	279.26
自己資本比率(%)	23.9	24.9	31.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	7,232	7,391	4,734
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	605	457	3,729
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	408	430	852
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	26,668	26,808	19,390
従業員数(人) (外、平均臨時雇用者数)	1,130 (432)	1,037 (453)	1,062 (431)

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結会計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第1四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	1,037	(453)
---------	-------	-------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第1四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年12月31日現在

従業員数（人）	768	(71)
---------	-----	------

(注) 従業員数は就業人員であり、臨時雇用者数は()内に当第1四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注および販売等の状況】

(1) 販売実績

当第1四半期連結会計期間における販売実績を商品分類別に示すと次のとおりであります。

商品分類	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビール	36,831	3.8
和洋酒	26,011	2.7
調味料・缶詰	26,561	8.1
嗜好・飲料	28,550	5.2
麺・乾物	13,265	5.7
冷凍・チルド	7,435	5.2
ギフト	21,167	7.5
その他	5,839	2.0
合計	165,663	2.8

(注) 1 発泡酒およびビール風アルコール飲料(第3のビール)の販売実績は「ビール」に含んでおります。

2 主な相手先別の販売実績および総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第1四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第1四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
	金額(百万円)	割合(%)	金額(百万円)	割合(%)
(株)セブン・イレブン・ジャパン	18,885	11.1	18,686	11.3

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 仕入実績

当第1四半期連結会計期間における仕入実績を商品分類別に示すと次のとおりであります。

商品分類	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
ビール	35,535	3.5
和洋酒	25,889	2.1
調味料・缶詰	25,544	7.3
嗜好・飲料	26,601	5.7
麺・乾物	12,630	5.8
冷凍・チルド	6,891	6.5
ギフト	20,232	7.6
その他	837	1.3
合計	154,163	3.0

(注) 1 発泡酒およびビール風アルコール飲料(第3のビール)の仕入実績は「ビール」に含んでおります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2【事業等のリスク】

当第1四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

4【財政状態、経営成績およびキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結会計期間（平成21年10月1日～平成21年12月31日）におけるわが国経済は、一部に景気を持ち直し傾向があるものの、企業業績の回復までには至らず、雇用情勢の悪化や個人所得の減少などにより、引き続き厳しい経営環境が続いております。

食品流通業界でも、消費者の生活防衛意識の高まりによる節約志向から、企業の価格競争が続くなど、依然厳しい状況で推移しております。

このような状況下、当社グループはスーパー等の組織小売業との取引拡大を進めたものの、前期に実施した連結子会社の株式売却や酒類卸売業との取引の減少、ギフト商戦の苦戦などにより、当第1四半期連結会計期間の売上高は前年同期比較2.8%（47億14百万円）減少の1,656億63百万円となりました。

営業利益は、売上高減少による売上総利益の減少があったものの、売上総利益率の改善、コストマネジメントの推進ならびに前期に開設した一括物流センターの収益改善などにより、前年同期比較8.6%（2億8百万円）増加の26億32百万円となりました。

経常利益は、営業利益の増加により、前年同期比較11.8%（2億89百万円）増加の27億43百万円となりました。

四半期純利益は、投資有価証券の減損などによる特別損失が発生したことに加え、前年同期において、投資有価証券売却による特別利益を計上しているため、前年同期比較33.8%（6億16百万円）減少の12億6百万円となりました。

(2)財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,197億円38百万円となり、前連結会計年度末と比べ451億円41百万円の増加となりました。主な要因は、年末時期の季節要因により売上債権が302億11百万円増加したことなどによるものです。負債は、1,649億39百万円となり、前連結会計年度末と比べ445億59百万円の増加となりました。主な要因は年末需要期に入り、仕入債務が429億51百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、547億98百万円となり、前連結会計年度末と比べ、5億81百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金7億95百万円の増加およびその他有価証券評価差額金2億14百万円減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は268億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億17百万円の増加となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、73億91百万円の収入となりました。主な資金増加要因は、税金等調整前四半期純利益21億38百万円および仕入債務の増加429億51百万円などによるものであり、資金減少要因は、売上債権の増加302億11百万円およびたな卸資産の増加66億11百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億57百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億30百万円の支出となりました。主な資金減少要因は、配当金の支払額4億10百万円などによるものです。

(3)事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第1四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第1四半期連結会計期間において、確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却などの計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成22年2月12日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	13,032,690	13,032,690	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式で あり、権利内容に何 ら限定のない当社 における標準とな る株式であり、単元 株式数は100株であ ります。
計	13,032,690	13,032,690	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金残 高 (百万円)
平成21年10月1日～ 平成21年12月31日	-	13,032	-	4,923	-	7,161

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第1四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年9月30日）にもとづく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式)(注)2 普通株式 194,600	-	-
	(相互保有株式) 普通株式 6,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,828,700	128,287	-
単元未満株式(注)1	普通株式 2,890	-	-
発行済株式総数	13,032,690	-	-
総株主の議決権	-	128,287	-

(注)1 「単元未満株式」の欄の普通株式には、当社所有の自己株式7株が含まれております。

2 「完全議決権株式(自己株式等)」欄の自己保有株式は、当第1四半期会計期間末日現在194千株であります。

【自己株式等】

平成21年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 伊藤忠食品株式会社	大阪市中央区城見 2-2-22	194,600	-	194,600	1.49
(相互保有株式) 株式会社スハラ食品	北海道小樽市堺町 1-8	6,500	-	6,500	0.05
計	-	201,100	-	201,100	1.54

(注) 当社の自己保有株式の所有株式数の合計(自己名義所有株式数のみ)は、当第1四半期会計期間末日現在194千株であります。

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 10月	平成21年 11月	平成21年 12月
最高(円)	3,200	3,080	3,160
最低(円)	3,050	2,885	2,915

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所市場第一部におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）にもとづいて作成しております。

なお、前第1四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則にもとづき、当第1四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）および当第1四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則にもとづいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、前第1四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、また、当第1四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）および当第1四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表については有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、監査法人トーマツは、監査法人の種類の変更により、平成21年7月1日をもって有限責任監査法人トーマツとなっております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,008	10,690
受取手形及び売掛金	³ 101,317	71,105
有価証券	12,800	8,700
商品及び製品	17,133	10,521
その他	22,794	20,567
貸倒引当金	543	494
流動資産合計	167,509	121,091
固定資産		
有形固定資産	¹ 27,017	¹ 27,371
無形固定資産		
のれん	6	7
その他	1,013	947
無形固定資産合計	1,020	955
投資その他の資産		
投資有価証券	14,531	15,429
その他	10,369	10,459
貸倒引当金	710	709
投資その他の資産合計	24,190	25,178
固定資産合計	52,228	53,505
資産合計	219,738	174,596
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	³ 150,645	107,694
未払法人税等	724	862
賞与引当金	432	1,094
役員賞与引当金	16	51
その他	10,223	7,579
流動負債合計	162,042	117,282
固定負債		
退職給付引当金	289	284
役員退職慰労引当金	7	7
設備休止損失引当金	23	24
その他	2,576	2,781
固定負債合計	2,896	3,097
負債合計	164,939	120,379

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,923	4,923
資本剰余金	7,163	7,163
利益剰余金	42,527	41,732
自己株式	590	591
株主資本合計	54,024	53,227
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	773	987
評価・換算差額等合計	773	987
新株予約権	-	1
純資産合計	54,798	54,216
負債純資産合計	219,738	174,596

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第 1 四半期連結累計期間】

(単位 : 百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年10月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成21年10月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	170,377	165,663
売上原価	152,167	147,554
売上総利益	18,210	18,108
販売費及び一般管理費	15,786	15,476
営業利益	2,424	2,632
営業外収益		
受取利息	46	33
受取配当金	107	106
不動産賃貸料	98	128
その他	29	23
営業外収益合計	282	291
営業外費用		
支払利息	8	12
不動産賃貸費用	60	72
持分法による投資損失	173	92
その他	10	3
営業外費用合計	252	181
経常利益	2,453	2,743
特別利益		
投資有価証券売却益	967	-
固定資産売却益	0	-
貸倒引当金戻入額	1	0
特別利益合計	969	0
特別損失		
投資有価証券評価損	-	445
固定資産除却損	3	125
その他	-	33
特別損失合計	3	604
税金等調整前四半期純利益	3,419	2,138
法人税、住民税及び事業税	1,364	713
法人税等調整額	232	218
法人税等合計	1,597	931
四半期純利益	1,822	1,206

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,419	2,138
減価償却費	379	471
持分法による投資損益(は益)	173	92
投資有価証券売却損益(は益)	967	-
投資有価証券評価損益(は益)	-	445
貸倒引当金の増減額(は減少)	47	50
賞与引当金の増減額(は減少)	639	662
退職給付引当金の増減額(は減少)	5	14
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	0	0
受取利息及び受取配当金	154	139
支払利息	8	12
固定資産除売却損益(は益)	2	125
売上債権の増減額(は増加)	34,485	30,211
たな卸資産の増減額(は増加)	6,804	6,611
未収入金の増減額(は増加)	1,997	3,097
差入保証金の増減額(は増加)	68	2
仕入債務の増減額(は減少)	46,801	42,951
未払金の増減額(は減少)	2,773	2,396
その他	144	178
小計	8,339	8,158
利息及び配当金の受取額	139	123
利息の支払額	9	12
法人税等の支払額	1,235	878
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,232	7,391
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,130	60
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	172	122
投資有価証券の取得による支出	31	42
投資有価証券の売却による収入	2,000	4
その他	62	678
投資活動によるキャッシュ・フロー	605	457
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	384	410
その他	23	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	408	430
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	7,429	7,417
現金及び現金同等物の期首残高	19,238	19,390
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,668	26,808

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第1四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

該当事項はありません。

【簡便な会計処理】

	当第1四半期連結会計期間 （自平成21年10月1日 至平成21年12月31日）
固定資産の減価償却費の算定方法	固定資産の年度中の取得、売却および除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算にもとづく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結会計期間（自平成21年10月1日至平成21年12月31日）

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末 (平成21年9月30日)																
1 有形固定資産の減価償却累計額は、9,816百万円であります。	1 有形固定資産の減価償却累計額は、9,792百万円であります。																
2 偶発債務 下記の会社の仕入債務について保証を行っております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(株)宝来商店</td> <td style="text-align: right;">500百万円</td> </tr> <tr> <td>(株)カジタク</td> <td style="text-align: right;">89</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">589百万円</td> </tr> </table>	(株)宝来商店	500百万円	(株)カジタク	89	計	589百万円	2 偶発債務 下記の会社の仕入債務について保証を行っております。 <p>なお、九州伊藤忠食品(株)は、平成21年10月1日付で商号を(株)中九食品に変更しております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">(株)宝来商店</td> <td style="text-align: right;">198百万円</td> </tr> <tr> <td>九州伊藤忠食品(株)</td> <td style="text-align: right;">100</td> </tr> <tr> <td>(株)カジタク</td> <td style="text-align: right;">95</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">393百万円</td> </tr> </table>	(株)宝来商店	198百万円	九州伊藤忠食品(株)	100	(株)カジタク	95	計	393百万円		
(株)宝来商店	500百万円																
(株)カジタク	89																
計	589百万円																
(株)宝来商店	198百万円																
九州伊藤忠食品(株)	100																
(株)カジタク	95																
計	393百万円																
3 当第1四半期連結会計期間末日が決済日となる売上債権および仕入債務の会計処理については、実際決済日をもって決済処理をしております。当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、売上債権および仕入債務には決済予定が当第1四半期連結会計期間末日で実際の決済が平成22年1月に繰り越されたものが次のとおり含まれております。 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">(売上債権)</td> </tr> <tr> <td>受取手形</td> <td style="text-align: right;">1,029百万円</td> </tr> <tr> <td>売掛金</td> <td style="text-align: right;">7,493</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">8,522百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(仕入債務)</td> </tr> <tr> <td>支払手形</td> <td style="text-align: right;">2百万円</td> </tr> <tr> <td>買掛金</td> <td style="text-align: right;">14,795</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">14,798百万円</td> </tr> </table>	(売上債権)		受取手形	1,029百万円	売掛金	7,493	計	8,522百万円	(仕入債務)		支払手形	2百万円	買掛金	14,795	計	14,798百万円	
(売上債権)																	
受取手形	1,029百万円																
売掛金	7,493																
計	8,522百万円																
(仕入債務)																	
支払手形	2百万円																
買掛金	14,795																
計	14,798百万円																

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。	販売費及び一般管理費の主要な費目および金額は次のとおりであります。
運送費・倉敷料	9,553百万円
貸倒引当金繰入額	55
賞与引当金繰入額	436
役員賞与引当金繰入額	15
退職給付費用	70
役員退職慰労引当金繰入額	0
	9,396百万円
	48
	432
	16
	75
	0

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲 記されている科目の金額との関係	現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲 記されている科目の金額との関係
現金及び預金勘定 16,168百万円 有価証券勘定に含まれる譲渡性預金 10,500	現金及び預金勘定 14,008百万円 有価証券勘定に含まれる譲渡性預金 12,800
現金及び現金同等物期末残高 26,668百万円	現金及び現金同等物期末残高 26,808百万円

(株主資本等関係)

当第1四半期連結会計期間末(平成21年12月31日)および当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日
至平成21年12月31日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 13,032千株

2. 自己株式の種類及び総数

普通株式 196千株

3. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年12月18日 定時株主総会	普通株式	410	32	平成21年9月30日	平成21年12月21日	利益剰余金

(2) 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間
末後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社および連結子会社は全セグメントの売上高の合計額および営業利益の合計額に占める食料品卸売業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社および連結子会社は在外連結子会社および在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

当社および連結子会社は海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第1四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)		前連結会計年度末 (平成21年9月30日)	
1株当たり純資産額	4,269.03円	1株当たり純資産額	4,223.76円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	
1株当たり四半期純利益金額	142.06円	1株当たり四半期純利益金額	93.99円
潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額	141.98円	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益金額	93.99円

(注) 1株当たり四半期純利益金額および潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
1株当たり四半期純利益額		
四半期純利益(百万円)	1,822	1,206
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(百万円)	1,822	1,206
期中平均株式数(千株)	12,829	12,835
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	7	0
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年2月6日

伊藤忠食品株式会社
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中山 紀昭 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊藤忠食品株式会社の平成20年10月1日から平成21年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年10月1日から平成20年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊藤忠食品株式会社及び連結子会社の平成20年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年2月8日

伊藤忠食品株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中山 紀昭 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊東 昌一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている伊藤忠食品株式会社の平成21年10月1日から平成22年9月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成21年10月1日から平成21年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、伊藤忠食品株式会社及び連結子会社の平成21年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。